

組立簡単タイヤラック 小・中・大共通 取扱説明書

このたびは弊製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は組み立て式です。必ず組立手順、組立上の注意事項などの指示に従って組立を行ってください。また、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

警告…人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意…人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容

組立上の注意

- 平らな場所で作業してください。
- 床に段ボール、カーペット、布等を敷き、商品や床をキズつけないように注意してください。
- 組立時は、保護手袋を着用する。素手で取り扱っていると、けがをする原因になります。
- 組立時は、乳幼児をそばに近づけない。小さな部品などを誤飲する可能性があります。
- 梱包資材はお住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

使用上の警告

- 安全な場所に設置使用してください。
- 人が近づく場所には設置しない。地震、人の衝突等によりタイヤラックが倒れる危険があります。
- 製品の耐荷重を超えて使用しない。製品が破損し、けがなどの原因となります。
- 収納できるタイヤサイズ以外のタイヤは収納しない。ラックからタイヤが落下し、けがなどの原因となります。
- 異常があるまま使用しない。製品が破損し、けがなどの原因となります。
- 分解・改造はしない。製品が破損し、けがなどの原因となります。
- 製品の上に乗ったり踏み台として使用しない。転倒し、けがの原因となります。
- 不安定な床面で使用しない。転倒し、けがの原因となります。
- タイヤを上段だけに収納しない。重心が高くなり不安定になり転倒し、けがの原因となります。
- タイヤを載せたまま移動させない。破損、転倒し、けがの原因となります。
- 定期的に樹脂ナットのゆるみを点検し必要に応じて増し締めする。

使用上の注意

- 雨、直射日光、高温多湿を避ける。製品の錆び、劣化、変色の原因となります。
- 殺虫剤、薬品をかけたたりしない。製品の劣化や変色の原因となります。
- においが気になる場合、換気をよくする。
- パイプジョイント部の金属製ネジを緩めたり外したりしないでください。

お手入れ方法

著しい汚れは、うすめた中性洗剤を浸した柔らかい布を固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをする。磨き粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変色の原因となります。化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

小/JAN: 4920501920330
中/JAN: 4920501920347
大/JAN: 4920501920354

※製品の仕様および外観は、改良などの理由で予告なく変更することがあります。 株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 TEL.025-371-4805 Made in China

1509

部品一覧 ※組み立て前に、各部品・部材がそろっていることをご確認ください。

部品名	数量	小(軽自動車用)	中(普通車用)	大(大型車用)
A 下段ジョイント付きパイプ 	2セット	約40.5cm	約54.5cm	約68.5cm
B 横パイプ 	4本	約23.5cm	約29.5cm	約38.5cm
C 下段縦パイプ 	4本	約60.5cm	約72cm	約84.5cm
D 上段ジョイント付きパイプ 	2セット	約40.5cm	約54.5cm	約66.5cm
E 上部縦パイプ 	4本	約30.5cm	約38cm	約45.5cm
F サイドパイプ 	2セット	約26.5cm	約32cm	約41cm
G パイプ取り外しクリップ 	1個			

組立方法

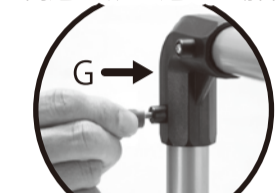
(1) タイヤ積載部上段・下段の組立

A(下段ジョイント付きパイプ)にB(横パイプ)を差し込んで積載部下段を組み立てます。差し込む際にB(横パイプ)のピンストッパーを親指で押しながら、A(下段ジョイント付きパイプ)のジョイント部の受け穴の位置に合わせてまっすぐ差し込みます。

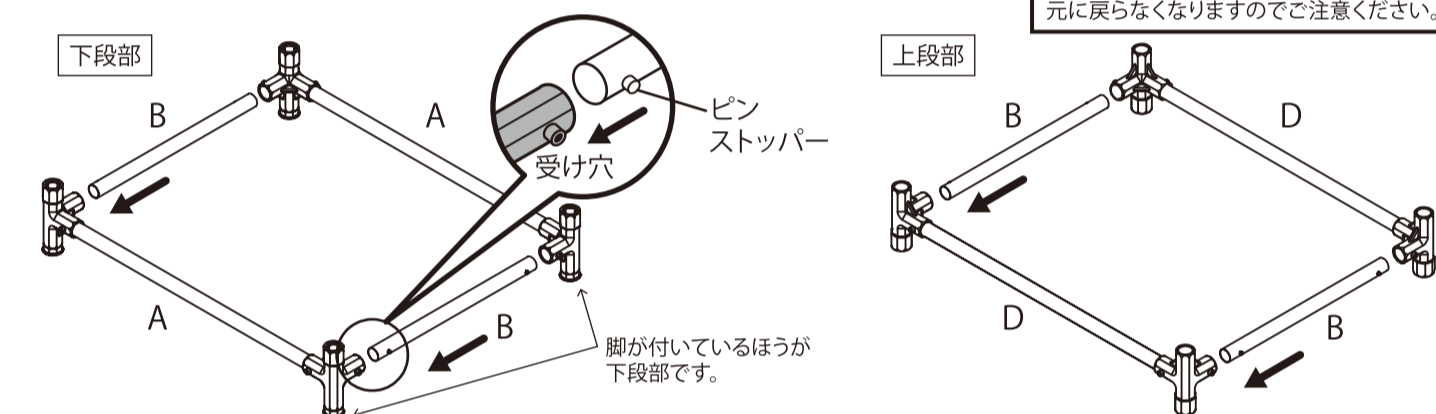
※注意: ピンストッパーがズレていると、正しく受け穴に入らずロックすることができません。必ずピンストッパーが受け穴の位置にあること、B(横パイプ)を引っ張って試みて抜けないことをお確かめください。

同様にD(上段ジョイント付きパイプ)にB(横パイプ)を差し込んで積載部上段を組み立てます。
※注意: 間違えて差し込んだ場合は、付属のG(パイプ取り外しクリップ)を穴に差し込み、ストッパーを解除しながらパイプを引き抜いてください。

間違えて差し込んだ場合



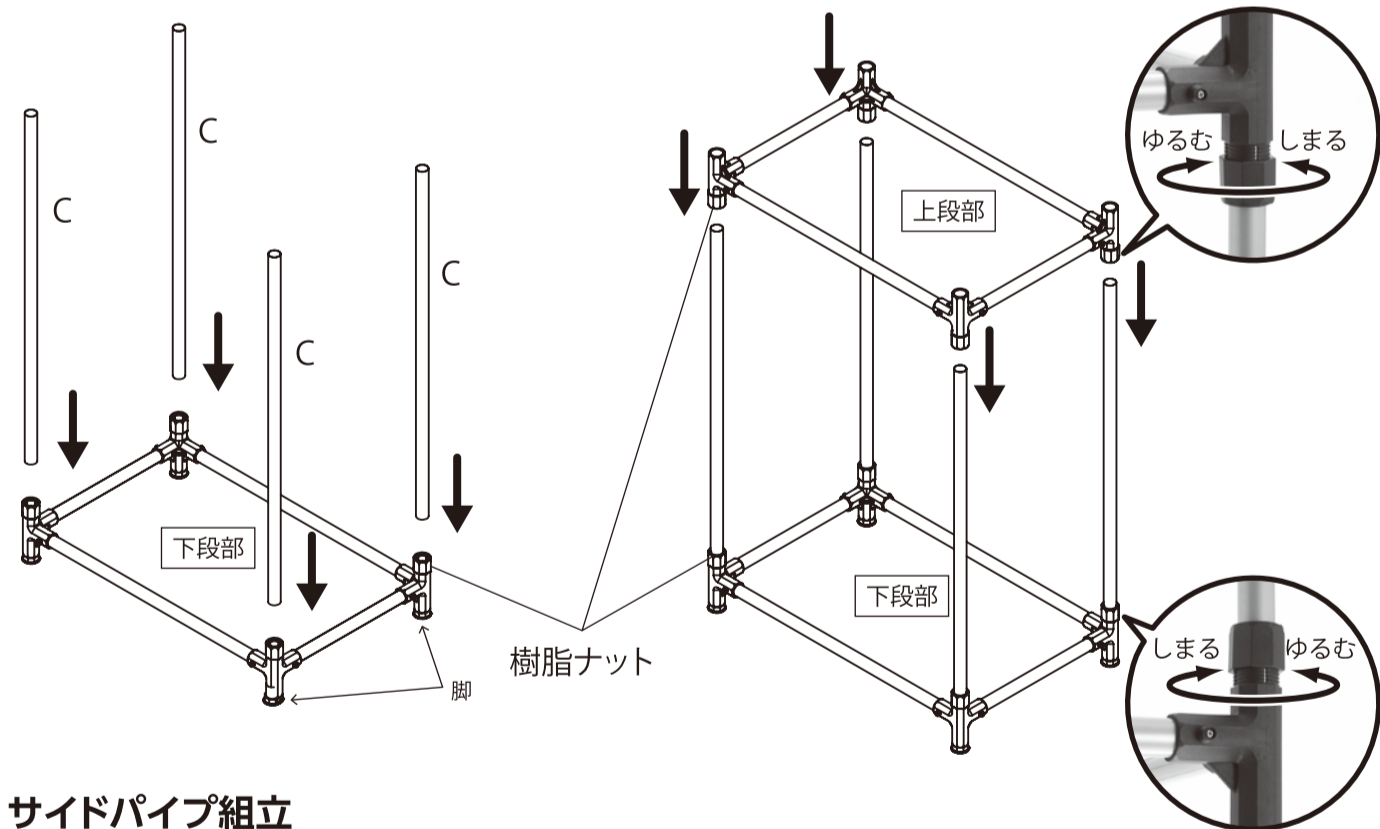
必ず付属のG(パイプ取り外しクリップ)をご使用ください。細いドライバー等を使って無理に押すと、ピンストッパーがパイプ内にもぐりこんで、元に戻らなくなるのでご注意ください。



(2) タイヤ台組立

(1)で組み立てたタイヤ積載部下段の樹脂ナット(4カ所)を緩めてから、C(下段縦パイプ)を突き当たるまで差し込みます。

タイヤ積載部上段の樹脂ナット(4カ所)を緩めてから、C(下段縦パイプ)が突き当たるまで上から押し込みます。ゆがみやガタつきがないことを確認してから、すべての樹脂ナットをしっかりと締め付けます。



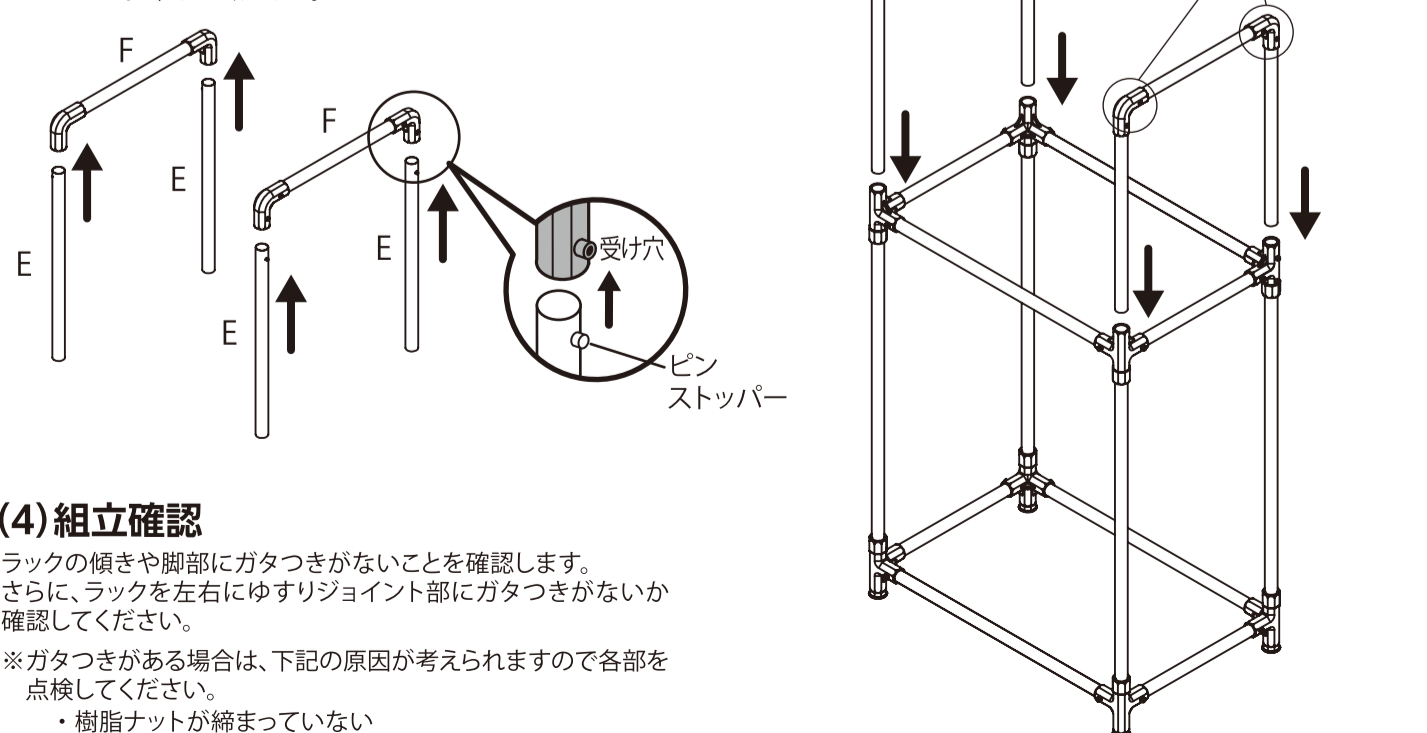
(3) サイドパイプ組立

F(サイドパイプ)にE(上部縦パイプ)を差し込みます。差し込む際にE(上部縦パイプ)のピンストッパーを親指で押しながら、F(サイドパイプ)のジョイント部の受け穴の位置に合わせてまっすぐ差し込みます。

※注意: ピンストッパーがズレていると、正しく受け穴に入らずロックすることができません。必ずピンストッパーが受け穴の位置にあること、E(上部縦パイプ)を引っ張って試みて抜けないことをお確かめください。

組み立てたサイドパイプを、上段部に突き当たるまで差し込みます。

※注意: ネジを外側にしてください。



(4) 組立確認

ラックの傾きや脚部にガタつきがないことを確認します。さらに、ラックを左右にゆすりジョイント部にガタつきがないか確認してください。

※ガタつきがある場合は、下記の原因が考えられますので各部を点検してください。

- 樹脂ナットが締まっていない
- 各パイプが奥まで入っていない
- ピンストッパーが受け穴に正しく入っていない

完成図



積載方法

上下の各段にタイヤを立てた状態で2本ずつ積載してください。積載できるタイヤは、下記の一覧表を確認してください。



製品仕様

製品名	小(軽自動車用)	中(普通車用)	大(大型車用)
品番	TR001	TR002	TR003
積載タイヤ本数	タイヤ4本(上段2本、下段2本)		
耐荷重制限	120kg(上段 60kg、下段 60kg)		
収納できるタイヤサイズ	幅 160mm以下 外径 485mm~550mm	幅 235mm以下 外径 500mm~675mm	幅 290mm以下 外径 675mm~805mm
参考タイヤサイズ	135/SR12 145/70R12 145/80R10 155/60R13 等	155/60R13 165/70R13 185/60R14 195/60R15 205/60R15 等	205/70R16 215/70R16 225/55R17 265/60R18 275/40R18 等
材質	パイプ: スチール ジョイント部: ナイロン樹脂 ネジ、スプリング: ステンレス		
製品サイズ	約46cm×32cm×104cm	約58cm×38cm×123cm	約72.5cm×47cm×142cm

※タイヤサイズはメーカーや使用状況(空気圧・ゴム減り)によって多少異なる場合があります。タイヤ幅・外径を実測し、適応サイズ内であることをご確認ください。